

# 令和4年度三重県立公衆衛生学院学校関係者評価結果報告書

令和5年6月

## 1 学校関係者評価の実施

学校関係者評価の実施にあたって、令和5年3月16日に三重県立公衆衛生学院学校関係者評価懇話会を開催し、令和4年度を評価対象期間とする「令和4年度三重県立公衆衛生学院自己評価結果」について説明し、自己評価結果に対するご意見をいただきました。

評価結果は本報告書として取りまとめ、今後の教育活動や学院運営の改善に活かし、これらの質の向上に努めることとします。

## 2 学校関係者評価員

所 属	役職名	氏 名
三重大学大学院医学系研究科 基礎医学系講座幹細胞発生学分野	教 授	山崎 英俊
公益社団法人三重県歯科医師会	常務理事	福森 哲也
特定非営利活動法人三重県歯科衛生士会	会 長	笹間 滋代
三重県立公衆衛生学院後援会	会 長	田中 真由美

## 2 学校関係者評価結果の活用

学校関係者評価結果及び自己評価結果については、ホームページにおいて公表します。

また、教職員は、今回の結果を活用し、教育活動及び学院運営等の質の保証と向上に努めていきます。

## 3 評価項目等に対する意見

別紙のとおり

## 別紙

	学校関係者評価員の意見	今後の取り組み等
(3)教育活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生の身だしなみやふるまいなど他校と比較するときちんとしており、学院でしっかり指導していただいていることがよくわかる。</li> <li>・学院の大学化や学修成果の発表方法などを工夫してはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も学生に寄り添った指導を行っていく。</li> <li>・大学化については、専門性は高まると思われるが、学生等のニーズや授業料・卒後の進路等様々な影響が考えられる。</li> <li>・まずは、学生にとって、卒業研究など研究の成果を発表する機会があると、経験と知識が向上し、モチベーションが上がると思われる。それがさらに研究意欲につながり、専門性の向上が図られることから、発表の機会を設けていきたい。</li> </ul>
(4)学修成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業生の状況を把握し、今後もつながっていくことが大切と感じるので、同窓会を活用して名簿等を整備してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>同窓会が今年度より活動を再開しており、SNS 等充実してきているので今後活用していきたい。</li> </ul>
(6)教育環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床実習では、総合病院と医院とをどのように割り当てているのか。</li> <li>・防災について、特に学外にいるときに安否確認等訓練を実施してはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、実習先は学生の利便性を考慮しつつ、臨床実習を行っている。引き続き、公平性を考慮し、実習先を決定していくとともに実習施設との連携を図る。</li> <li>・SNS を使ったの安否確認訓練を実施していく。</li> </ul>
(7)学生の受入れ募集	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内就職者を増やすために、社会人の確保や授業料について検討してはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他県の県立養成校の状況や県内歯科衛生士の需要などを考慮すると現在の推薦入試7割、一般入試3割の募集を維持したい。また、授業料については、他県の県立養成校の状況等を参考にしながら慎重に検討する。</li> </ul>